

大伴金村

さつまつるまのた葉やきしより  
世の良しきまをしむる 春睦

小督局

もろくふとれい少舞のそをそめく  
うさよめさこもいぬものころら 圭哉

大伴左輔親

ひまのくいと使はらまそまみその  
りきりあいに名をんむらあし 曲清

大友皇子

うけしむむのけき若のうみ山  
そのありのよるくももさめ 幹文

小野妹子

目のいほみみくをいそくこの  
はういもあそくよあそく 朝陽

大江廣元

おぬあそのかさくおかねのゆきを  
くみくまきそくあのかく 浄矩

小侍從

うけのめどうくおきくくしむの  
ふけゆくういれおとくこのやま 永好

大庭宗親

あてあういんくさくも大庭す  
ゆしあのかゆをんくく 裁之

小聖童

みまこくさくさくみくはれま  
あまのくまきいんをさりけり 三友

大伴旅人

いひくこの人もくくあはつあ  
まそくさくいんもあはつあ 正辭

小野小町

いれゆあはあまきまきまいぬん  
さあふ水をもくくあのみて 利隆

大江匡房

とたえあきあのぬんあをぬる  
船のまきくのうきさく 是興

小千部雷

うらむさくさくさくけむい  
むのふとれれ神のまは 豊頼

文久二年壬戌年

披園飛板